

特定健診未受診者の診療情報を活用 した情報提供事業について

(地域の医師会等と連携した特定健診の取組)

令和元年11月18日

佐賀県保険者協議会事務局

佐賀県国民健康保険団体連合会 高森 薫

事業開始の経緯

○背景

平成29年度に、この事業開始に向けた検討を実施しましたが、国保保険者においては、健診受診率の向上のため、通知や電話勧奨、テレビでのCM放送、広報紙等のさまざまな取組を行っているほか、かかりつけ医の先生方からも受診勧奨の御協力をいただいていたところですが、国が目標に掲げる受診率60%（H28年度市町国保の受診率41.0%）には遠く及ばない状況にありました。

また、保険者協議会においても、県医師会で取りまとめられた健診実施機関名簿や健診受診方法などの資料を県歯科医師会、県薬剤師会、健診実施機関ではない基幹病院に配布するなど、受診勧奨に係る取組を実施していました。

なお、特定健診を受診しない理由に「医療機関にかかっているから」という方が多い実態から、診療情報を活用した特定健診受診率向上の取組を実施することとしました。

特定健診対象者における特定健診受診と医療機関受診の関係図
(平成28年度 市町村国保)

< 佐賀県 >

都道府県名	人口※1	高齢化率※1	全被保険者数※2	国保加入割合※3
佐賀県	832,832人 42位	27.7% 31位	199,355人 42位	23.9% 29位
	KDB参加保険者数※4	特定健診対象者数	特定健診実施率※5	
	20保険者 / 20	131,401人	41.0%	15位

		医療機関への受診				
		有	無	合計		
特定健診の受診	有	受診者数	49,856人	3,417人	53,273人	
		健診対象者に占める割合	37.9%	2.6%	40.5%	
		うち生活習慣病有	35,756人		35,756人	
		受診者数に占める割合	71.7%		67.1%	
		無	未受診者数	61,929人	16,199人	78,128人
			健診対象者に占める割合	47.1%	12.3%	59.5%
	うち生活習慣病有		41,053人		41,053人	
	未受診者数に占める割合		66.3%		52.5%	
	合計		合計人数	111,785人	19,616人	131,401人
			健診対象者に占める割合	85.1%	14.9%	100.0%
		うち生活習慣病有	76,809人		76,809人	
		合計人数に占める割合	68.7%		58.5%	

< 全国集計（市町村国保） >

	人口※1	高齢化率※1	全被保険者数※2	国保加入割合※3
全国集計	127,094,745人	26.6%	31,822,403人	25.0%
(市町村国保)	KDB参加保険者数※4	特定健診対象者数	特定健診実施率※5	
	1,734保険者 / 1,741	20,339,792人	36.6%	

		医療機関への受診				
		有	無	合計		
特定健診の受診	有	受診者数	6,901,173人	485,758人	7,386,931人	
		健診対象者に占める割合	33.9%	2.4%	36.3%	
		うち生活習慣病有	4,764,004人		4,764,004人	
		受診者数に占める割合	69.0%		64.5%	
		無	未受診者数	10,095,026人	2,857,835人	12,952,861人
			健診対象者に占める割合	49.6%	14.1%	63.7%
	うち生活習慣病有		6,466,319人		6,466,319人	
	未受診者数に占める割合		64.1%		49.9%	
	合計		合計人数	16,996,199人	3,343,593人	20,339,792人
			健診対象者に占める割合	83.6%	16.4%	100.0%
		うち生活習慣病有	11,230,323人		11,230,323人	
		合計人数に占める割合	66.1%		55.2%	

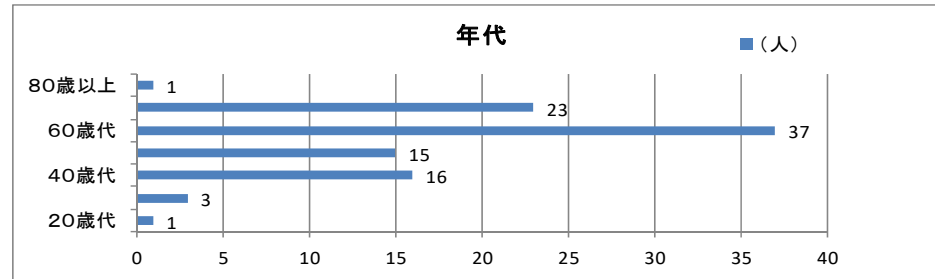
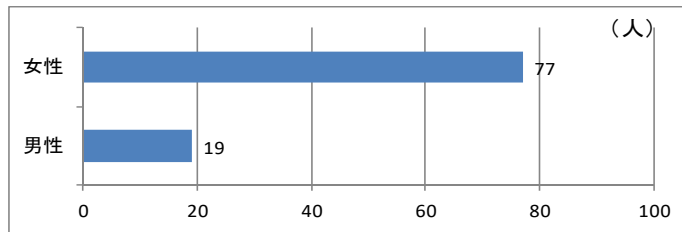
健康づくりアンケート結果

H29.9.29 報告

平成29年9月23日開催の「2017がん征圧県民のつどい」にて、健診受診のアンケートを実施しました。

主催者によると300名を超える来場者があったということですが、そのうち96名に聞き取りによるアンケートを実施することが出来ました。結果は次のとおりです。

回答者の状況



女性が約8割を占めており、参加者全体の状況も同様であった。

なお、同性代の友達や夫婦、親子での参加が多く、60歳代以上の健康への関心が高いことがわかる。

健康診断の受診状況



受けない理由

通院中	8名	自覚症状がない	2名
受診方法不明	4名	怖い	1名
面倒	2名	その他	5名

イベントの内容から、がんの罹患者やその家族も多く、約8割が健診を受診するなど、全体的に健診への意識が高い。

その中でも、受診しないと回答した方の多くは、治療中や定期検査以外は不要と捉えている様子がうかがえた。

40代	受けた	6名
	今年中に受診	6名
	受けない	4名
50代	受けた	10名
	今年中に受診	2名
	受けない	3名
60代	受けた	17名
	今年中に受診	12名
	受けない	8名

聞き取りによるアンケートを実施することで、少し踏み込んで話を聞くことが出来た。

- ・受診している方は、毎年受診しているが、受診することに満足して結果をよく見ていないようである。
- ・仕事をしているときは、定期的に受診しているが、仕事を辞めたり、休職中などは受診方法がわからない。
- ・家族のことは心配するが、自分のことはおろそかになる傾向にある。
- ・医療機関を定期受診している方は、そこで全身管理をしているという認識がある。
- ・特定健診という言葉が意外と浸透しておらず、健診との違いを聞かれるケースが多い。
- ・がん検診のみ受診している方もいる。

事業開始にあたっての課題と対応

【 課 題 】

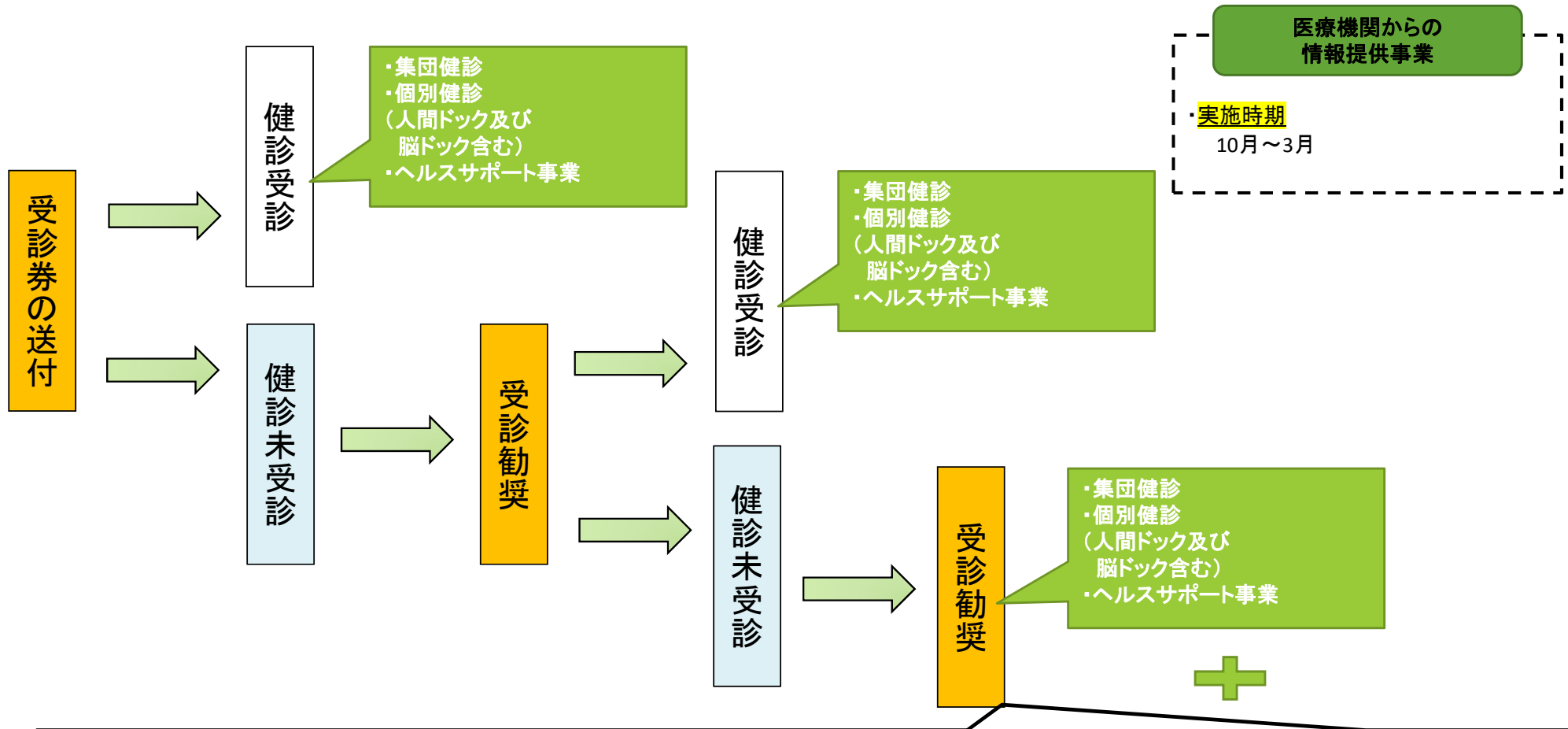
- すでに同様の事業を実施している市町があるが、個別対応であり伸び悩んでいる。
- 様式や契約がバラバラで、市町ごとに違い、医療関係者へも被保険者へも周知が難しい。
- この事業を強かに推奨できる法的根拠を説明しづらい。



【 対 応 】

- 国保連合会で費用決済を受託することで、統一の様式や費用を決め、県全域で実施する。
- 県国保課から広域化等支援基金の運用益を財源に、連合会の事業へ補助費用決済の仕組みの構築に係る費用を補助していただく。
- 平成30年度に発出された「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3版）」に同内容の手順が明記されたことをもって、佐賀県医師会及び各地区医師会へ県や市町と一緒に事業への協力を、一斉にお願いした。

佐賀県市町国民健康保険における特定健診受診のイメージ（まとめ）



国保連合会から市町へ、レセプト情報から特定健診の基本項目の算定があるなどの該当者情報を提供し、市町から被保険者へ事業説明を行うなどの受診勧奨を実施

4月

特定健診受診促進

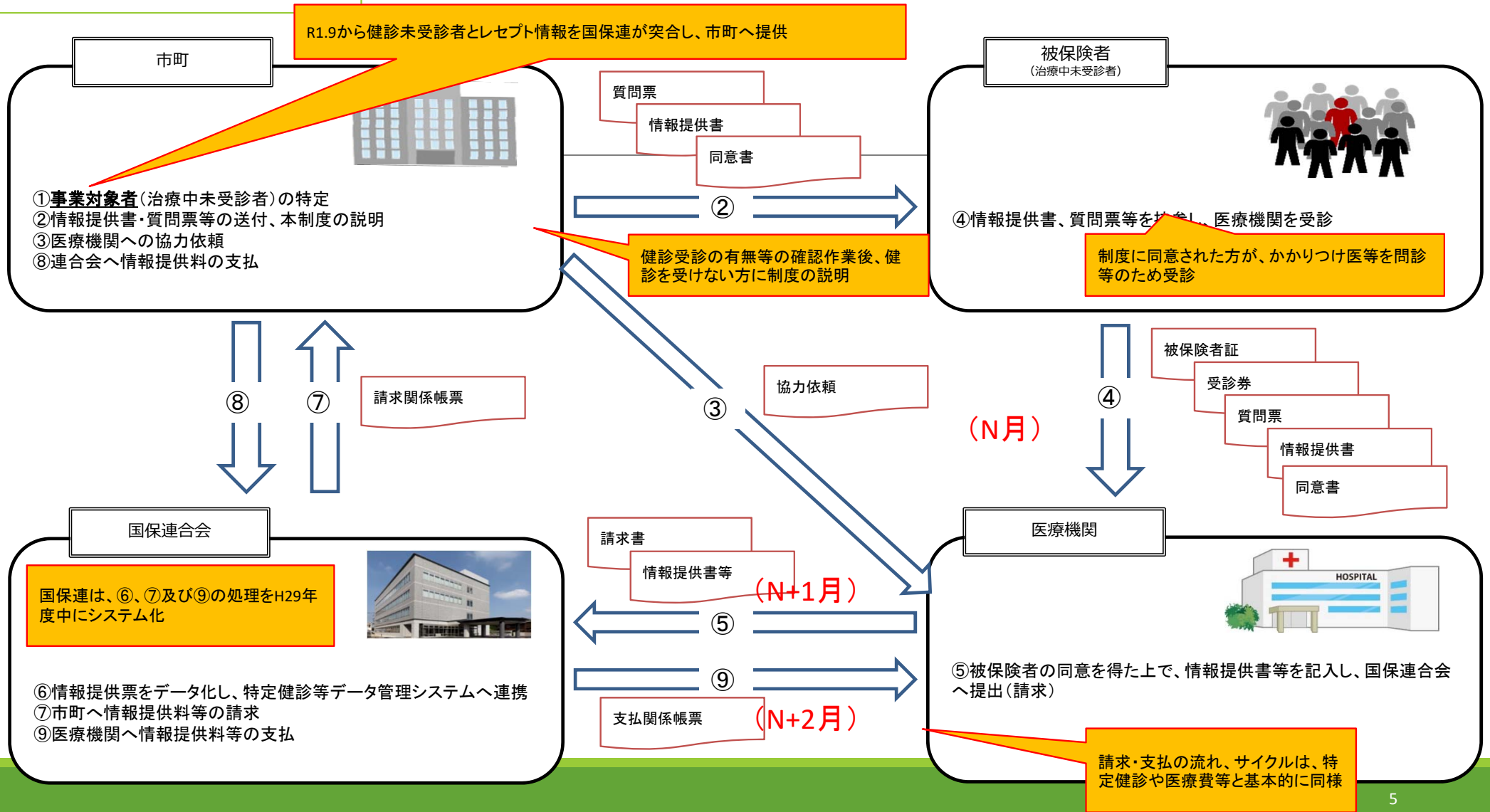
9月

未受診者への受診勧奨

3月

無関心層への受診勧奨(情報提供を含む)

業務全体の概要図



令和元年度の事業概要等

○ 情報提供事業の概要

- 1 事業期間 … 令和元年 **10月**から令和2年 **3月**まで（医師の総合判断をした期間）
- 2 情報提供料 … **2,500円（税込み）**（前年度同様）
- 3 ただし、基本項目を満たすために行われる尿検査（尿中一般検査）については、検査料として情報提供料とは別に対価（税込み300円）を支払う
- 4 重傷化予防の際に有効とされるHbA1c、血清クレアチニン、血清尿酸及び尿潜血の検査については、検査をされている場合は検査結果の記載をお願いします。
- 5 様式はP9～11掲載の県統一の様式とする。（詳細な請求方法は、各医療機関向け資料参照。）

令和元年度の事業概要等

○ 地区医師会や関係者への周知の際に整理した内容

- 1 特定健診については、優先順位として医療機関での個別健診や市町が実施する集団健診の受診を勧めており、次にヘルスサポート事業による情報提供（データでの運用）、その次に診療情報を活用した情報提供事業（紙での運用）となる。
- 2 情報提供料は、あくまでも治療に必要であった血液等の検査の項目が特定健診の項目を満たしている場合に、所定の書式に記載していただく手間と不足する情報（身長や腹囲、質問票など）を補完していただく費用である。
- 3 血液等の検査実施から情報提供を行うための医師の総合判断日までの期間が3ヶ月であることから、被保険者が情報提供書を持参した日がすでに期間を過ぎている場合など、提供の要件を満たさない場合は情報提供書が出来ない旨を被保険者へ説明していただきたい。なお、特定健診受診券の有効期間内に血液検査等の実施予定がある場合には、その情報の活用について被保険者と調整するなど御協力いただきたい。
- 4 この事業は、本人の同意と医療機関の協力によるものであり、強制するものではないものであることから診療や治療の妨げにならない範囲で御協力をお願いすると共に、提供が困難な場合には、是非特定健診の受診勧奨をお願いしたい。

3-2-2 診療における検査データの活用(保険者とかかりつけ医の連携による)

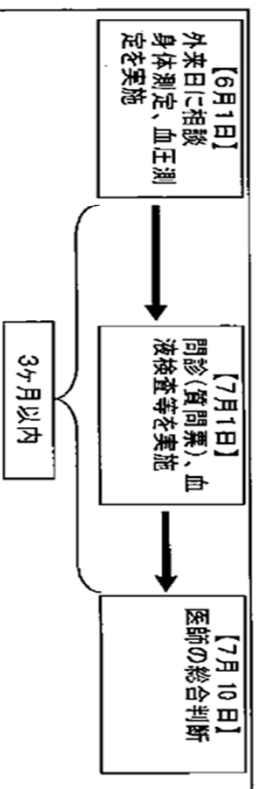
治療中患者の特定健康診査の推進及び診療情報の提供)

特定健康診査は、対象者本人が定期的に自らの健診データを把握するとともに、治療中であっても生活習慣を意識し、改善に取り組む端緒となることが期待されることから、まずは、治療中であっても特定健康診査を受診するよう、かかりつけ医から本人へ特定健康診査の受診勧奨を行うことが重要である。

その上で、本人同意のもとで保険者が診療における検査結果の提供を受け、特定健康診査の結果データとして活用する場合は、以下のとおりとする。

- ア 保険者が受領する診療における検査結果は、特定健康診査の基本健診項目(医師の総合判断を含む)を全て満たす検査結果であること
- イ 特定健康診査の基本健診項目は基本的に同一日にすべてを実施することが想定されるが、検査結果の項目に不足があり基本健診項目の実施が複数日にまたがる場合は、最初に行われた検査実施日と、最後に実施された医師の総合判断日までの間は、3ヶ月以内とする(図表 18 参照)。
- ウ 特定健康診査の実施日として取り扱う日付は、医師が総合判断を実施した日付とする¹⁾

図表 18: 診療における検査データの活用例(複数日にまたがる場合)



保険者とかかりつけ医の連携による治療中患者の診療情報の提供に関する具体的な手順は、以下の流れが考えられる。実施する保険者は、必要性と地域の実情に応じて、医師会等と連携して進めていく必要がある¹⁾。

- ア あらかじめ関係者間で、手順や費用の支払い等について契約内容を取り決めておく。
- イ 保険者から患者本人に対し、保険者等が提供する健診を受診していないが、かかりつけ医のもとで実施された診療における検査結果があれば、特定健康診査の結果として活用できることを説明する(保険者が、保険者からかかりつけ医宛の依頼書等を加入者本人へ渡す等も考えられる)。
- ウ 患者本人が、通院時に保険者からかかりつけ医宛の依頼書等を持参し、かかりつけ医に相談する。
- エ かかりつけ医は、患者本人の同意を確認した上で、診療上の検査結果を依頼書等へ記載し、本人を介して又は直接、保険者へ送付する。
- オ 保険者は、受領した当該患者の診療上の検査結果を特定健康診査結果データとして活用する。

¹⁾ 保険者から支払基金への実施報告における特定健康診査の実施機関番号は、検査を実施した保険医療機関番号とする(4-5-1 参照)。

【様式1】

特定健診情報提供料請求書

<佐賀県国民健康保険団体連合会提出用>

請求日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

保険者番号	4	1					
-------	---	---	--	--	--	--	--

市町長 様

医療機関番号	4	1	1						
医療機関住所									
医療機関名									
代表者名									
電話番号									

請求金額	円
------	---

請求年月	令和	年	月
------	----	---	---

【請求金額内訳】

項目	単価（税込）	件数	合計
情報提供料 （追加検査なし）	2,500 円	件	円
追加検査分 尿一般検査	300 円	件	円

【情報提供書記入上の留意事項 請求前に御確認ください】

- 基本項目は、必ず記載してください。なお、代替項目に記載がある場合はこの限りではありません。
代替項目：LDLコレステロール Non-HDLコレステロール（中性脂肪400mg/dl以上又は食後に採血する場合）
空腹時血糖 HbA1c
（空腹時血糖及びHbA1cのいずれもない場合） 随時血糖
※空腹時とは絶食10時間以上、随時とは食後3.5時間以上10時間未満とする。
- 尿糖、尿蛋白、尿潜血、医師の診断については、該当する番号を で囲んでください。
- 情報提供のため、尿一般検査（尿糖、尿蛋白）を追加で実施した場合、情報提供料（追加検査なし2,500円）とは別に追加検査料として300円請求できます。この場合、情報提供書の『追加検査実施欄』（3）に尿検査実施日を記入してください。
- 尿検査測定不能の場合は（ ）内に を記入してください。
代替項目及び任意項目については、必須項目ではないが、検査数値をお持ちであれば、記載に御協力をお願いします。

特定健診の情報提供書

【様式2】

本人同意欄（本人記入欄）

- (1) 診療における検査結果の情報を国民健康保険特定健康診査の結果データとして活用すること。
- (2) 保健指導や健診結果データの集約・分析等を行うこと。

私は、診療における検査結果の情報提供に関する上記の事項に同意のうえ、情報提供書（質問票）を
 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 _____ 市・町に提供いたします。

フリガナ	保険者番号				4	1							
氏名	生年月日	昭和			年					月			日
	性別	2	1	男	2	女				年齢			歳
(代筆者名)	受診券整理番号												
	被保険者証番号												
	被保険者証番号												
	被保険者証番号は 右詰めで記載)												
住所	連絡先(電話番号)												

【医療機関記入欄】

医師の総合判断日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

医師の総合判断日は受診券の有効期限内にお願ひします。

項目	(/ /)は検査実施日を記載	追加検査 要請日	検査結果					注意事項				
身体測定 (/ /)	身長					cm	小数点以下1桁					
	体重					kg	小数点以下1桁					
	BMI					kg/m ²	小数点以下1桁					
腹囲						cm	小数点以下1桁					
	収縮期血圧					mmHg	右詰めで記載					
血圧 (/ /)	拡張期血圧					mmHg	右詰めで記載					
	中性脂肪					mg/dl	右詰めで記載					
血中脂質検査 (/ /)	HDLコレステロール					mg/dl	右詰めで記載					
	LDLコレステロール					mg/dl	右詰めで記載					
肝機能検査 (/ /)	AST (GOT)					U/l	右詰めで記載					
	ALT (GPT)					U/l	右詰めで記載					
血糖検査 (/ /)	-Gt (-GTP)					U/l	右詰めで記載					
	空腹時血糖					mg/dl	右詰めで記載					
尿検査 (/ /)	尿糖	2					1 (-) ・ 2 (±) ・ 3 (+) ・ 4 (++) ・ 5 (+++)					
	尿蛋白	2					1 (-) ・ 2 (±) ・ 3 (+) ・ 4 (++) ・ 5 (+++)					
代査項目 (/ /)	尿検査測定不能	4					() 排尿障害等のため尿検査を実施できません。					
	血中脂質検査 (/ /)	Non-HDLコレステロール				mg/dl	右詰めで記載					
任意項目 (/ /)	腎機能検査 (/ /)	HbA1c (NSP値)				%	小数点以下1桁					
	腎機能検査 (/ /)	随時血糖				mg/dl	右詰めで記載					
留意項目 (/ /)	血清クレアチニン					mg/dl	小数点以下2桁					
	血清尿酸					mg/dl	小数点以下1桁					
医師の診断	2	1	異常なし	2	治療中	3	要医療	4	要検査	5	経過観察	
医療機関コード	4	1										医療機関住所
医師名											医療機関名	

特定健診の情報提供書（質問票）

【様式3】

【本人記入欄】医師等の問診による記入可

項目	質問事項	回答欄			
		該当する番号を○で囲んでください			
0	今、体調の悪いところ（自覚症状）がありますか。	1	はい ()	2	いいえ
1	現在、血圧を下げる薬を服用していますか。	1	はい	2	いいえ
2	現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用していますか。	1	はい	2	いいえ
3	現在、コレステロールや中性脂肪を下げる薬を服用していますか。	1	はい	2	いいえ
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	1	はい	2	いいえ
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	1	はい	2	いいえ
6	医師から、慢性腎不全や腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けていますか。	1	はい	2	いいえ
7	医師から、貧血といわれたことがありますか。	1	はい	2	いいえ
8	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。（※今までに合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っており最近1ヶ月間も吸っている方）	1	はい	2	いいえ
9	20歳の時の体重から10kg以上増加していますか。	1	はい	2	いいえ
10	1回30分以上の寝汗をかき運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	1	はい	2	いいえ
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	1	はい	2	いいえ
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いですか。	1	はい	2	いいえ
13	食事をかんで食べるときの状態はどれにあてはまりますか。	1	何でもかんで食べることができる		
		2	嚥や噛ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		
		3	ほとんどかめない		
14	人と比較して食べる速度が速いですか。	1	速い	2	ふつう
		3	遅い		
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	1	はい	2	いいえ
		1	毎日		
16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	1	時々		
		2	時々		
		3	ほとんど摂取しない		
17	朝食を抜くことが週に3回以上ありますか。	1	はい	2	いいえ
		1	毎日		
18	お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は、どのくらいですか。	1	時々		
		2	時々		
		3	ほとんど飲まない（飲めない）		
		1	1合未満		
		2	1～2合未満		
		3	2～3合未満		
		4	3合以上		
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量は、どのくらいですか。 清酒1合（180㎖）の目安： ビール中瓶1本（約500㎖）、焼酎25度（110㎖）、 ウイスキーダブル1杯（60㎖）、ワイン2杯（240㎖）	1	はい	2	いいえ
20	睡眠で休養が十分とれていますか。	1	改善するつもりはない		
		1	改善するつもりではない		
		2	改善するつもりである（概ね6か月以内）		
		3	近いうちに（概ね1か月以内）改善するつもりであり、少しづつ楽めている。		
		4	既に改善に取り組んでいる（6ヶ月未満）		
		5	既に改善に取り組んでいる（6か月以上）		
22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	1	はい	2	いいえ

<佐賀県国民健康保険団体連合会提出用>

参考：平成30年度事業実績

平成30年度は、事業所年度にもかかわらず、多くの医療機関に御協力いただきました。

現在、平成30年度の特定健診の国への法定報告は、県全体で43.0%であり、平成29年度の41.3%を上回っており、情報提供事業の対象者全体の寄与率も0.87%と高い結果を出すことができました。

この事業は、平成30年度第3回保険者協議会で情報提供し、構成団体すべてに資料提供しました。

保険者	件数	受付月																累計		情報提供による 受診率増加見込率					
		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		情報提供 件数	尿検査 追加 件数	平成30年度対象者 数(5/28時点)	受診率(見込)
		情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加	情報提 供書	尿検査 追加						
国保	佐賀市	79	49	63	36	78	42	83	41	57	27	66	28	11	2	0	0	1	0	0	0	438	225	32,719	1.34
	唐津市	13	3	9	0	8	0	52	25	28	16	20	14	12	11	4	2	0	0	4	4	150	75	20,314	0.74
	鳥栖市	4	2	6	2	6	4	15	10	11	7	7	3	2	0	6	3	0	0	1	0	58	31	8,674	0.67
	多久市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3,131	0.03
	伊万里市	12	3	8	0	13	3	16	5	34	9	33	9	3	0	9	2	1	0	2	0	131	31	8,357	1.57
	武雄市	1	0	0	0	0	0	13	0	22	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	41	4	7,409	0.55
	鹿島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1	4,852	0.10
	小城市	7	1	15	2	19	1	14	10	11	3	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	72	18	6,118	1.18
	嬉野市	6	4	11	6	11	3	5	4	9	1	11	3	4	1	1	1	0	0	0	0	58	23	4,251	1.36
	神埼市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	7	2	4,798	0.15
	基山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,710	0.00
	上峰町	1	1	1	1	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7	4	1,199	0.58
	玄海町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,202	0.00
	有田町	6	3	3	1	9	6	4	3	6	2	14	4	0	0	5	1	3	0	0	0	50	20	3,184	1.57
	大町町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,214	0.00
	江北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,368	0.00
	太良町	1	0	0	0	1	0	12	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1	1,832	0.98
	白石町	3	2	0	0	7	1	4	1	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6	4,376	0.46
	みやき町	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	0	4,268	0.12
	吉野ヶ里町	4	1	0	0	6	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	2,003	0.60
計	138	69	117	48	160	60	219	101	194	73	168	64	36	14	28	10	6	0	7	4	1,073	443	123,979	0.87	

最後に

この事業を開始するにあたって、多くの関係者の御理解とご協力をいただくため、顔の見える関係を構築する必要がありました。

この事業の大きな成果は、特定健診の必要性と、佐賀県の実態を多くの関係者の方と共有することが出来た事だと感じています。

特に、特定健診を実施していない病院や大学病院などの公的病院に協力いただくことが出来たことが、受診率向上に寄与しています。

佐賀県の一人当たり医療費は、全国と比較してかなり高く、関係者への周知も大変難しいと感じている中、特定健診の情報を周知する機会を利用して様々な情報を提供することは、データヘルス計画の推進はもとより、医療費適正化につながると信じています。

保険者協議会としても、健康寿命の延伸に向けて、適正な医療費と重症化予防への取組を様々な視点から推進していきたいと思います。



ご清聴ありがとうございました。